

# 学習日誌

9月29日 (金)	講 師	座間市文化財調査員 古川 修 先生
出席者数	83名	記録者 7年1班 丸田紀美江
講 座 名	郷土学習講座3「座間を通る奈良時代の東海道駅路と鎌倉街道、星の谷城の関係」	
プログラム担当者	郷土学習講座グループ	
時 間・場 所	13:30~15:30、第一集会室にて	

## 【学習内容】

初めに奈良時代の東海道駅路が座間を通っていたかいなか諸意見があるで検討をしていきましょう。

- ①駅路とは：都と地方の連絡、納税、軍隊の派遣などの為にあった最短で結ぶ直線（道路幅12m）の官道です。一定の間隔で「駅（うまや）」が設けられ、公用で乗り継ぐ馬が用意されていた。
- ②座間を通ったと思われる東海道駅路
- ③字名から推定される駅路の位置
- ④護王姫神社付近の切通し
- ⑤夷参駅について
- ⑥鎌倉街道
- ⑦伝説からみた道の意義



古川講師

- ⑧諸国古城之図 星谷
- ⑨三峰神社周辺に見られる城郭遺構らしきもの
- ⑩甲陽軍艦（武田信玄に関する軍記物）における信玄の発言
- ⑪座間市内の鎌倉街道の謎
- ⑫この論者に対する反対意見とそれに対する反論

【感想】上記の12項目を1項目ずつ2時間にわたってていねいにユウモアを込めてお話しして下さいました。座間の知らない歴史の一部に触れた貴重なひと時を共有しました。とにかく楽しい2時間でした。あまり触れることがない座間の昔にタイムスリップしたようで色々な説があることにもびっくりして聞いていましたが皆それぞれ感じ方はまた違うのが面白いのではと思います。